



時を旅する 愛知の東海道



まちあるきマップ

時を旅する



愛知県街道観光
推進協議会

「時を旅する
愛知の街道」
ガイドブック
も併せてご覧ください。



あつた 熱田宿

(笠寺、熱田)

東海道で最大規模を誇った宿場町

東海道一
にぎわった町の
面影をたどる

名鉄本笠寺駅下車し、北に進むと東海道に突き当たる。しばらく住宅街を歩く。400mほど進むと左手に富部神社の社叢や呼続公園の木々が見える。さらに進み山崎の坂道を下り、山崎橋を渡る。都市高速道下を走る堀田高岳線(空港線)の松田橋交差点で東海道は、国道下に消える。国道脇の歩道を進み、JR東海道本線ガード下をくぐると再び東海道が現れる。熱田橋を渡るとかつての宿場町があった場所に至る。



熱田宿(宮宿) / 宮の渡し公園

7 上知我麻神社(熱田神宮摂社)



江戸時代は源太夫社とよばれ、⑤「ほうろく地蔵」の位置に鎮座していた。昭和24年(1949)に熱田神宮境内に遷座した。

3 八丁畷公園



織田信長が整備した浜の道(熱田~笠寺)に松並木が植えられ海から見ると一筋の縄に見えたという。宮宿まで八丁の距離があったことから八丁縄手とよばれた。

2 地藏院



人々が湯を浴びせ祈願したといわれる湯浴地藏が安置されている。



6 熱田湊常夜燈・宮の渡し公園

「七里の渡し」の船着場跡。常夜灯と時の鐘やぐらが復元されている。

5 ほうろく地蔵



三河と熱田をめぐる不思議な由来を持つ石地蔵を祀るお堂。

4 姥堂・裁断橋跡



小田原の陣で病死した息子を思う母の気持ちを刻んだ擬宝珠の名文で知られる。

1 富部神社



徳川家康四男の松平忠吉が創建した。



- 1 富部神社 徒歩10分
- 2 地藏院 徒歩20分
- 3 八丁畷公園 徒歩20分
- 4 姥堂・裁断橋跡 徒歩10分
- 5 ほうろく地蔵 徒歩10分
- 6 熱田湊常夜燈・宮の渡し公園 徒歩18分
- 7 上知我麻神社(熱田神宮摂社) 徒歩7分

所要時間
約1時間
45分
距離
約6km



鳴海宿の曲尺之手

名鉄鳴海駅を下車。北に200m進むと本町交差点。付近には芭蕉ゆかりの誓願寺も。西へ進む東海道はカーブして北へ向かう。丹下町常夜燈、成海神社を訪ね、再び東海道を北へ600mで芭蕉ゆかりの千句塚公園に至る。東海道は三王山交差点で北西に向かう。天白橋を渡り笠寺一里塚、緩やかな坂を上ると笠覆寺(笠寺観音)に至る。

名古屋市

歌枕や俳句に
詠まれた
千瀉跡をゆく

東海道

鳴海宿

(鳴海〜笠寺)

芭蕉がたびたび訪れた宿場町



有松の町並み

名古屋市

日本遺産認定の
町並みで
時を旅する

東海道

有松

(有松〜鳴海)

日本遺産に認定された染織の町

6 笠覆寺(笠寺観音)



尾張四観音のひとつ。笠寺観音の名で親しまれている。

5 笠寺一里塚



江戸から88里にあたる一里塚。名古屋市内で唯一残っているもの。

2 丹下町常夜燈



宿場町の西の入り口に寛政4年(1792)に設置された。

4 千鳥塚



(左)芭蕉生前に建てられ、本人直筆の文字が刻まれた碑はここだけ。(右)千句塚公園からの眺め

3 成海神社



熱田神宮の東に位置するところから「東宮大明神」ともよばれていた。

1 誓願寺



芭蕉最古の供養塔や芭蕉像が安置されている芭蕉堂が残る。

5 瑞泉寺



東海道を西に向かう旅人の目印になった。山門は宇治の万福寺総門を模したもの。

3 有松一里塚



江戸から87里にあたる一里塚跡。平成24年(2012)に復元。

1 有松山車会館



市文化財のからくり人形を載せた山車を見学できる。



6 天神社



成海神社の創祠の地。戦国期に鳴海城の一部とされていた。

4 平部町常夜燈

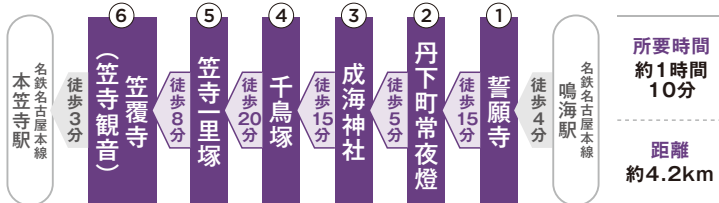


宿場の東の入り口に文化3年(1806)に設置された。

2 有松・鳴海絞会館



有松絞りの歴史や技術を展示。絞り実演や体験もできる。



Information (有松、鳴海宿、熱田宿共有)
名古屋観光コンベンションビューロー
052-202-1143

